

44期わが社の運輸安全マネジメントの取り組み (平成30年9月1日～平成31年8月31日)

・わが社の事故防止のための安全方針

- ・安全輸送を極めるため、すべてをリセットし、ゼロからすべてやり直す
- ・安全輸送を極めるため、今一度交通ルールを厳守する
- ・安全輸送を極めるため、安全作業の重要性を周知する

・社内への周知方法

- ・安全方針を掲示および配布する
- ・創立記念日で発表する

・安全方針に基づく目標(44期の安全目標)

- ・日常点検の徹底
- ・デジタコの徹底
- ・荷積み、荷卸しルールの徹底
- ・5Sの徹底

・目標達成のための計画(44期の安全計画)

- 安全教育計画
- ①安全運転講習の受講を計画する
 - ②年間計画表に沿って、外部講師を招いての講習会を計画する
 - ③タイヤ止めの再々徹底

- 安全車両計画
- ①運行前点検のより一層の徹底を継続する
 - ②パワーゲート講習会の実施
 - ③3か月点検の徹底
 - ④荷崩れ防止のための装備品を充実させる

・わが社における安全に関する情報交換方法

- ・定期的にDrとのミーティングで、安全に関する情報交換を行う
- ・毎月1回の朝礼、掲示
- ・面談の実施

・わが社の安全に関する反省事項

- ・43期の内部チェックは44期10月を予定。問題等の結果は後日社内に掲示および社員に配布する。
- ・重大事故につながりかねない事故が3件発生した

・反省事項に対する改善方法

- ・43期内部チェックにより把握した問題点の改善方法を後日HPに掲載、社内に掲示及び社員に配布する
- ・安全教育・危険予知トレーニングの機会を増やし安全意識を高める

・わが社の安全に関する目標達成状況

- ・43期(平成29年9月1日～平成30年8月31日)目標

- ①乗車前車両回り1周
- ②速度超過運転の撲滅
- ③人身対物事故ゼロ
- ④荷扱い時の事故ゼロ

- ①まだまだ周知徹底されていない
- ②デジタルでチェックしているが、まだまだ個人差がある
- ③結果として人身事故はゼロであるが、大事故になりかねない対物事故が3件発生した
- ④残念ながら誤出荷、誤配が数件発生した

期末の7月8月に事故が集中して起こった。気候が異常に暑くなり、集中力が落ちていたのかもしれない。面談を繰り返し、しっかりと分析し今後の安全教育に生かしたい。

・事故内容

- ①車線変更時相手車両のミラーと接触2件
- ②観音扉を開けたまま発車し、鉄柱に接触
- ③踏切を渡りすぐ右折する際、ボディを接触
- ④雨天時走行中、鉄板でスリップし壁に激突
- ⑤走行中、前車両に追突
- ⑥右折時にハンドル操作を誤り中央分離帯に激突

・わが社の自動車事故報告規則第2条に規定する事故

- ・43期(平成29年9月1日～平成30年8月31日) 0件

・わが社の事故に関する情報

- ・43期(平成29年9月1日～平成30年8月31日)に重大事故は発生していない

井上運輸倉庫株式会社 本社営業所

代表取締役 井上 算